



## ■平成26年度通常総会が開催されました

6月14日(土)14時より、NPO法人金澤町家研究会の通常総会が開催されました。事務局(ギャラリー棟)には、会員数66名に対して44名の出席者・委任状を得て、昨年度の事業報告、収支報告、本年度の事業計画案、収支計画案が承認されました。閉会后、「金澤町家流通コーディネート事業」、「金澤町家シンポジウム」、「金澤町家巡遊」「金澤町家改修ビフォーアフター展」の活動報告と、米村博昭氏による講演会が開催されました。講演会には、30名の参加がありました。



通常総会の様子

### 〈講演の概要〉

#### ●奈良での町家活用の現状—今井町伝統的建造物群保存地区を中心に—

米村氏は、奈良まちづくりセンター理事、NPO法人今井まちなみ再生ネットワーク副理事長、奈良県建築士会副会長であり、講演会では奈良県内における町家の利活用の動きについて、伝統的建造物群保存地区の今井町を中心に、NPO法人今井まちなみ再生ネットワークが行っている空き家バンク事業やサブリース事業の報告、奈良県の他地域と共に取り組んでいる「大和・町家バンクネットワーク協議会」の事業紹介や奈良・町家の芸術祭「HANARART」について報告いただきました。

今井町は、天文期(室町時代後期)に成立した寺内町で、東西に600m、南北に310mのエリアに現在約1200人が居住しています。旧環濠内760棟の内、約6割が伝統的な様式の建物で、平成5年12月に伝統的建造物群保存地区に選定されました。

平成16年に奈良県建築士会が調査を行ったところ、約100件の空き家・空き地が確認され、所有者にも利活用の意思はなく、このままでは町並みが保たれないとの指摘から、平成18年にNPO法人今井まちなみ再生ネットワークが設立しました。今井まちなみ再生ネットワークでも、金澤町家流通コーディネート事業のような町家所有者とユーザーの橋渡しする「空き家バンク事業」が行われています。今井町にある空き家を年4回の「まちあるき」で案内するなど、これまでに約40物件が成約に至ったとのこと。室町時代に成立し、コンパクトな今井町のコミュニティに新しく入ってこられる方々のため、今井まちなみ再生ネットワークが「しおり」を作成し、今井町の歴史や暮らし、近隣との付き合い方を紹介するなど、今井町以外から居住を希望する方の受け入れをサポートしています。「空き家バンク事業」は奈良県内の他地域でも取り組まれ「大和・町家バンクネットワーク協議会」として他地域の空き町家情報も提供されます。また、所有する町家を賃貸することに難色を示す町家オーナーに対し、2週間から1ヶ月程度の期間限定で、アーティスト等に町家の貸し出しをするサブリース事業を提案し、賃貸期間の制約を設けることでオーナーの賃貸に対するハードルを下げ、その後の利活用につなげる取り組みも行われています。

講演の最後に、同じ伝統的建造物群保存地区である金沢のひがし茶屋街と比較し、ひがし茶屋街は土産物屋や飲食店などの観光の店舗が増えている一方で、今井町にも保存地区の選定後そのようなお店が入ってくるだろうと期待はしたものの、土産物屋は1軒もなく、お店が増えないという現象についてお話いただき、それぞれのまちづくりに関する課題、町家の利活用について、様々な意見交換を行いました。



米村博昭氏の講演風景

## ■金沢市と金澤町家保全活用推進協定を締結しました

平成26年7月28日、金澤町家の保全及び活用の推進に関する条例(金澤町家条例)に基づき、NPO法人金澤町家研究会が金沢市と保全活用推進協定を締結しました。このことにより、保全活用支援計画に基づいた活動に対して、市から支援を受けることになりました。

## ■金澤町家流通コーディネーター事業の報告

平成23年7月から開始した金澤町家流通コーディネーター事業は、今年で丸3年を迎えました。平成26年2月末時点での報告書に基づいた概要を報告します。

オーナー登録総数40件に比較し、ユーザー登録は125件と約3倍の町家利用希望者が登録されています。オーナー登録数は、平成23年度21件、24年度13件、25年度6件と年々減少傾向です。そのうち2/3が賃貸希望となっています。

一方、ユーザー登録数は平成23年度40件、24年度50件、25年度35件で賃貸・売買希望者の割合に大きな差はありません。ユーザーのうち、住居としての利用希望者は全体の約3割、多くの方が、店舗や併用住宅としての利用を検討されています。近年の希望として、コミュニティカフェやゲストハウスとしての利用を検討されている方が増えているようです。

しかし、実際にマッチングが成立した件数は3年間でわずか12件。その中にはオーナー物件だけでなく、金澤町家情報バンクや不動産流通物件から見つけ出した物件も含まれます。オーナー登録件数が少ないことやオーナー物件がすぐに利用できる状態になっていないこと、ユーザーの中には、町家の状態や金額相場の実態の理解や、物件探索の熱意に差があることが主な原因と考えられます。

今後、町家の売却や賃貸を検討されている方を探し、オーナー登録件数を増やすとともに、ユーザーの方に町家の実態を知っていただく工夫や、利活用の提案など、より進んだ方策を検討しています。

## ■町家巡遊2014 9/20(土)～9/28(日)



紙谷漁網店(笠市町)

今年の町家巡遊のメインエリアは駅前周辺。新幹線開業を控えて開発が進む金沢駅周辺にもまだまだ金澤町家が残っています。古いものと新しいものが共存する金沢の魅力を発信するためにも、改めて駅周辺の金澤町家に注目してみましょう。また、金沢駅から程近い笠市町の紙谷漁網店をメイン会場に、カフェやワークショップ、野菜の販売等を期間中は毎日楽しむことができ、部屋ごとにシェアし、壊されがちな大きな町家の保存・継承について、その活用方法を探っていきたいと思います。各町家ショップでも、ショップの方々のご協力による素敵な企画が目白押しです。是非、参加して下さい。

## ■優良金澤町家候補を募集します！

今年も優良金澤町家の推薦を募集いたします。「優良金澤町家」は、外観に歴史的な様式をよく留め、実際に利活用されている町家を対象とし、認定証と家屋の前面に掲出する表示プレートを贈呈させていただいています。自薦・他薦を問わず認定候補町家を募集します。金澤町家研究会までご一報ください。(募集締切 平成26年10月4日(土))



## ■優良金澤町家紹介コーナー

### ◇長町集真藍(あじさい)工房(長町3-9-25)

旧松任市に明治期に建築され大正期に長町に移築された農家建築と、当初から現地に建っていたと考えられる町人住宅が連なる建物です。農家建築も江戸期の武家住宅の意匠を継承したアズマダチの屋根をもち、大野庄用水沿いの長町の町並みに相応しい雰囲気を出しています。平成20年に金沢市の金澤町家再生活用モデル事業として改修されました。藍生葉染体験工房や貸ギャラリーとして活用されており、詩はがきや絵はがき、小物の展示・販売もしています。



長町集真藍工房

【長町集真藍工房(水曜日定休) 10:00～18:00 電話 080-1488-0236 (吉村)】

NPO法人  
金澤町家研究会

### 【お問い合わせ】事務局

〒920-0831 金沢市東山2-1-7 ギャラリー一椋内 Tel. 076-253-3517  
E-mail kanazawa-machiya@nifty.com  
<http://kanazawa-machiya.net>